

安全・景観・環境を提案する"群交協"

第67号

群交協だより

URL:<http://www.k5.dion.ne.jp/~gunkouky/>

平成27年1月10日 発行

発行

群馬県交通安全施設業協同組合

前橋市大手町1-2-6 ☎027-223-3343

発行責任者 峯崎 寛

編集発行人 小沢 竜也

群馬県交通安全施設業協同組合

理事長 峯崎 寛



あけましておめでとうございます。新しい年が組合員の皆様の会社にとって、また従業員の皆様にとって幸多き年になりますよう、心からご祈念申し上げます。

昨年は、国道354号の全線開通や四車線化で交通安全施設の発注も順調に伸び、(東毛広域幹線道路)各社とも充実した一年を過ごすことができたことと思います。また、八ッ場ダム関係の動きも活発になり、少しずつではありますが我々の交通安全施設に関わる風を感じたそんな年でもありました。

また、念願でありました、大きな災害が起きた時に我々の資料を提供することができ災害協定を、県知事と結ぶことができ記念すべき年となりました。

時代は、新設から補修へと移り変わりつつあり、老朽化した施設の維持管理が大変重要になってきております。交通安全のための施設が危険な状況を起こしかねない事態が近づ

群馬県知事 大澤正明



明けましておめでとうございます。新しい年が、群馬県交通安全施設業協同組合の皆様にとって幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録され、富岡製糸場はさらに、県内初の国宝の指定を受け、また、本県の宣伝部長である「ぐんまちゃん」が、県民の皆様に応援を受けて「ゆるキャラ®グランプリ」で見事一位に輝くことができました。長年の懸案であった東毛広域幹線道路も全線開通し、八ッ場ダムの本体工事に見通しが立つなど、午(うま)年(どし)にふさわしい、群馬県が大きく飛躍した一年となりました。

今年も、こうした昨年から勢いを加速させ、本県がさらに大きくはばたけるよう県政運営に全力で取り組んでまいります。

一月には、全国各地から多くの選手や関係者の方々を迎え、「二〇一五ぐんま冬国体」が開催されます。四月には、吾妻地域への特別支援学校の開校により、県内の未設置地域が解消し、秋には、「ぐんま県民マラソン」にフルマラソンを導入するなど、これまで着実に進めてきた取り組みが、いよいよ結実します。

また、「回復基調にある県内景気を下支えしていくため」、「七つの交通軸」の整備を重点的に進めるとともに、北陸新幹線

の金沢延伸でさらに高まる本県の拠点性を最大限に生かし、コンベンション施設の整備の他、企業誘致や観光誘客、農畜産物の輸出促進など、地域経済の活性化に向けて引き続き力を注いでまいります。

県民の安心・安全を守るための取り組みも重要です。昨年の大雪被害をはじめ、近年頻発している自然災害にしっかりと対応するため、警戒避難体制の充実・強化や防災・減災対策を着実に推進いたします。

特に、重点的に取り組むべき課題として、人口減少への対応が挙げられます。県では、新たに「群馬の未来創生本部」を設置し、群馬ならではの新しい発想で施策を進めることといたしました。交流人口の増加促進や新たな雇用の創出など、国や市町村、関係機関と連携して総合的に取り組んでまいります。

県民一人ひとりが将来に夢と希望を抱き、誇りと自信を持って働き、安全で安心して暮らすことができる郷土の創生を目指し、今年も、県民の皆様と力を合わせて「ふるさと群馬」の発展に全力を尽くす決意であります。

貴組合の皆様におかれましては、安全な交通環境の創出のため、より一層のご支援をお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

平成二十七年一月一日

いていきます。交通安全施設の専門工事業として、今年も全国道路標識・標示業協会の道路標識維持管理講習を受講し、危険な標識等の点検管理を押し進めたいと考えております。

その他の組合活動につきましても、標示・標識・防護柵・青年部の各部会を中心に粛々と進めてまいりますのでご協力を願います。また、県議会議員の選挙の年でもあります。顧問の先生が再度議場に立てるよう組合員の支援も宜しくお願いします。色々な意味で大きな変化の年であり、組合の方向性も問われる年となるでしょう。当組合は、社員や家族、地域を守るために一丸となり、火の玉となり進んで行きますように。

必ずや二〇一五年も素晴らしい年になるでしょう。

今年も宜しくお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

第23回 交通安全施設研究会

平成二十六年十二月十九日(水)群馬県公社ビル大ホールにおいて関係官庁の皆様及び組合員参加のもと「第二十三回群馬県交通安全施設研究会」を開催致しました。

初めにヨシモトポール(株)設計部波木教平氏より「道路標識の強度計算について」と題し、道路標識の法的基準や設計条件、強度計算等について講義を頂きました。

次に日本土工(株)技術開発部の桐越拓也氏から「道路付属物用基礎について」と題し、道路標識の基礎の構造計算や、低杭板付鋼製杭基礎(ポールアンカー100型Ⅴ)の特徴及び特性について説明を頂きました。

最後に、一般社団法人全国道路標識・標示業協会関東支部標識委員長の桶井達彦氏より「道路標識の点検要領・維持管理と登録基幹技能者について」と題し、国土交通省から平成二十六年六月に出された点検要領を基に、筐子トンネル天井板落下事故や道路標識の老朽化による事故の具体的事例を交え、標識や道路付属物の点検方法やその重要性について解説がありました。また、登録標識・路面標示基幹技能者の現況等について、説明していただきました。

当組合も専門工事業として登録標識・路面標示基幹技能者の資格取得を目指し、この研究会の成果を毎日の仕事に生かし、より良い交通安全施設の研究・設計・施工・調査・点検を進め、地域住民の皆様への安全・安心に努めるように精進してまいります。



子どもを守るプロジェクト

平成二十六年九月中旬から十月にかけて太田市・富岡市・沼田市内の十校の小学校を対象に「子どもを守るプロジェクト」を実施しました。

まず初めに市内の小学校の選定をし、それぞれの小学校に「子どもを守るプロジェクト」の趣旨説明を行いました。

実施内容は、小学校の校門付近に各地区のキャラクターを載せた「知らない人にはついていけない」等の啓発シートを、児童や先生等に貼っていただきました。近年、通学中の事故や事件が目立つなか、少しでも児童や地域住民の皆様の安全意識・防犯意識を高めて頂ければと思います。

平成二十二年度からスタートしたこのプロジェクトは今回で五年目になります。今後も子供達の安全・安心対策に尽力して参りたいと思います。

「子どもを守るプロジェクト」の第六回全国大会が平成二十六年十月二十三日に愛知県犬山市にて開催されました。交流会には全国二十一道府県より百四十名が参加し、活動報告や意見交換を行いました。全国交流会の成果を生かし、子ども達の安全対策に微力ではありますが、今後も努めてまいります。



第23回 つり大会

毎年、恒例となりました群交協青年部主催による釣り大会を平成二十六年九月七日(日)に前橋市柏倉町の「大崎つりばり」で開催しました。

当日は、あいにくの雨模様で開催が危ぶまれましたが、徐々に小雨となり無事に開催することができました。

組合員の皆さんの交流の場として、また会員の家族の憩いの場として、子供達の笑顔と無邪気で楽しそうな声があちらこちらから聞こえ、有意義で楽しい時を過ごしていただけた事と思います。

今回は皆様協力頂いた募金及び模擬店の売上金につきましては、佐藤交通遺児福祉基金に寄付させていただきました。

組合員及び家族の皆様のご協力に感謝とお礼を申し上げます。



この度、当組合は路面標示施工実技検定試験への長年にわたる協力が評価され、平成二十六年十一月十九日(水)に、明治記念館におきまして、厚生労働大臣表彰を頂きました。

これからも組合員一同、より一層の施工技術の向上に努めると共に、技能検定制度に微力ではありますが引き続き協力してまいります。



■組合員

(株)三積商事・(株)日装・富士技工(株)・(株)信交・(株)中井産業・群馬ライン企画(株)・富友産業(株)・(株)コムテックス・(株)サンテック・サン(株)・(株)友邦・共進安全(株)・三菱産業(株)・昭和サイン(株)・新日東(株)・ダイケンテクノ(株)・(有)高崎保安機材・中央ライン(株)・(株)日栄ライン工業・(株)ヒクタ・マーキングウェイ(株)・(株)三山

■賛助会員

(株)吾妻商会交通用品部・アトミクス(株)・岩澤建設(株)群馬支店・岳南光機(株)・信号器材(株)群馬営業所・新道路企画(有)桐生支店・スリーエムジャパン(株)トラフィック セーフティ・セキュリティ事業部・関東積水樹脂(株)・燕振興工業(株)・日鉄住金防蝕(株)北関東営業所・野原産業(株)都市環境事業部・扶桑工業(株)群馬営業所・ヨシモトポール(株)関東支店